

同じ場で 共に学ぶ

インクルーシブ教育の

これまで と これから



日本は2014年に国連障害者権利条約を批准しました。この条約は、障害のある子どもたちと障害のない子どもたちの学びの場を分けること（分離教育）ではなく、全ての子どもたちが同じ場で共に学ぶインクルーシブ教育を批准国に義務付けています。

インクルーシブ教育を受ける権利は、障害の有無にかかわらず全ての子どもたちに保障される大切な権利です。しかし、残念ながら、今現在も日本では特別支援学校や学級が増加傾向にあり、子どもたちの教育を受ける権利が十分に活かされていない現状があります。

インクルーシブ教育は、誰もが互いを尊重し、共に生きる共生社会を実現するための土台となるものです。2025年12月に長崎で開催される日本弁護士連合会人権擁護大会では、この重要なテーマを人権問題として取り上げることになっています。それに先立ち、本シンポジウムでは、北海道におけるインクルーシブ教育の具体的な実践例をご紹介しますとともに、教育現場が目指すべき方向性について、ご参加の皆様と共に考えを深めることを目的としております。

このシンポジウムが、インクルーシブ教育への理解を深め、全ての子どもたちが自分らしく輝ける社会の実現に向けた一歩となることを願っております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

参加費無料！

日時 2025年 8月30日(土) 13:00～16:30

場所 札幌市中央区北1条西10丁目札幌弁護士会館5階

- ・会場には、手話通訳、要約筆記を配置しています。
- ・点字資料、テキストデータを希望される方は申込フォームにご記入ください。

12:30 受付開始

13:00 主催者挨拶

13:10 講演 小国喜弘さん

(教育学者／東大大学院教授)

14:50 パネルディスカッション①

自閉症のカズと仲間と担任の先生

15:50 パネルディスカッション②

意見交換会

16:30 終了予定

小国喜弘さん

教育学者、
東京大学大学院教授、
インクルーシブ教育
研究の第一線で活躍中



自閉症のカズと

仲間と担任の先生

中学校の3年間で
普通学級とともに
過ごし、確かな絆
を結びました。



二次元コードまたはメール、FAXよりお申込みください。
メール、FAXでお申込みの方は、裏面をご覧ください。
Zoom配信もあります。

申込URL: <https://forms.gle/SBaNBS7fjeYAYpTK9>

会場定員100名

申込締切7月31日



札幌弁護士会「インクルーシブ教育プレ集会」参加申し込み

【メールの場合】

Email: furuki@sincere-law.com

※メールの題名を「インクルーシブ教育プレ集会参加申し込み」としてください。

- ① メールアドレス
- ② お名前（ふりがな）
- ③ 所属（ない場合はなしと記入）
- ④ 参加方法 会場参加／Zoom 参加（オンライン参加）
- ⑤ 個別支援 手話通訳 要約筆記 点字資料 テキストデータ その他（ ）

※手話通訳と要約筆記は会場のみとなります。

【FAX の場合】 FAX 番号 011-596-7802

名前（ふりがな）				
電話番号				
FAX 番号				
メール（あれば）				
所属				
参加方法	（ ）会場参加		（ ）Zoom 参加	
個別支援	（ ）手話通訳	（ ）要約筆記	（ ）点字資料	（ ）テキストデータ
その他（通信欄）				

※このまま FAX してください。

